

# 魅力あるロータリーに

甘木 富田 英壽

昨今の国際ロータリーは慈善事業の基金を多く集めたいのか、ロータリーの基本を外れた会員増強に力を入れているように感じます。そのためロータリーの魅力が失われて、入会者が減少し、退会者が増えているものと考えます。

「魅力あるロータリー」とは、人を引きつけ、興味を持たせ、喜びを与え、刺激を与えるロータリーだと思います。ロータリーの魅力とは、

「ロータリーに入会したい」「ロータリーに入会してもらいたい」と感じるものでしょう。

ロータリーの第一の魅力は、根本である Fellowship (親睦・友愛) にあると思います。ですから例会は大切にしたいものです。親睦には感性的親睦と精神的親睦があります。ゴルフや飲み会などは感性的親睦で、これはこれで意義があると思いますが、ロータリーで大事なものは精神的親睦です。ロータリーの例会や活動に参加することで、地域の良識ある職業人と知り合い、親しくなり、そこから自分を成長させて、立派な職業人となっていくことです。職業倫理が高まり、その職業で人のため、社会のために役立つことを学び、地域の良き指導者として育っていくのです。それが職業奉仕であり、ロータリーの第二の魅力でありましょう。

このような良識ある職業人の集まりは、ロータリーのほかには見当たらないのです。精神的親睦、これこそがロータリーの最大で、第一の魅力だと思います。ですから私たちは、ロータリーの基本である決議三三三四の精神を大事にしていきたいものであります。

ロータリーの最終目的は、世界平和です。戦争のない世界をつくることです。それは世界の良識ある職業人が一人でも多く親しい友人になり、ネットワークをつくり、国際親善によって戦争をなくそうと願っているものです。その根本がロータリーの Fellowship だと考えます。